



協力隊通信

後藤武蔵
小野優太郎

協力隊通信初投稿！

協力隊になって早3カ月。町の活動に関わったり、研修で学んだりしたことをみなさんに紹介します。また、明日から使えるSDGsの知識やなぜSDGsに取り組む必要があるのかを解説していきます。



おばあちゃんへのSDGs講話
@NPO法人まちづくりいいで
集まってくれた皆さんが熱心に聞いてくださり、説明している私たちも楽しい会になりました。

おばあちゃんへのSDGs講話
12月2日、NPO法人まちづくりいいでにて「おばあちゃんへのSDGs講話」を開催しました。総勢14名の方が参加してくださり、クイズなどを交え、楽しく学び合える会になりました。

SDGsとは何か、何のためのものか、どんなことができるのかを町の皆さんへ広く普及し、飯豊町でできるSDGsを一緒に考え、実行していくことが目標です。そのためにSDGs説明会の実施や自らSDGsアクションを率先して実行していきます。

SDGs普及推進員 後藤 武蔵

ゼロカーボン推進員 小野 優太郎
「ゼロカーボン」とは、企業や家庭から排出されるCO₂などの温室効果ガスを削減し、削減しきれない排出量を森林の吸収分などで、実質的に排出量をゼロにすることを目標としています。そのために町の皆さんとどんなことに取り組みするかを考え、実行していきます。

家庭でできるSDGsアクション

- ◎生鮮品や残り物、食べきれない時は早めに冷凍！
(まずは家庭から食品ロスを無くそう)
- ◎買い物は地元で！
(地元の雇用を守り、輸送CO₂削減にも貢献)
- ◎残り湯を洗濯に！
(1回のお風呂で捨てている水量は約200L)
- ◎使わないものは寄付しよう！(大切にしてくれる人のもとへ)
- ◎紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクル！
(資源を守ろう)
- ◎パソコンなどでの検索エンジンをEcosialに！
(検索が植樹貢献に。45回の検索につき1本の植樹)

まずは知ること。そして自分のできることから始めること。その積み重ねが持続可能な飯豊町・地球をつくることにつながります。

既に実践しているSDGsも身の回りにたくさんあります。

また、講義後の意見交換の場では、「昔はスッカくなつた(古くなつた)漬物を炒めてチャーハンにしたり、記載された賞味期限をうのみにせず、自分たちで食べられる食べられないを判断し、食べ物を大事にしていた」というお話がありました。これは、まさにフードロス削減(Goal12)への取り組みであると感じました。



林業体験@森人会
筋肉痛が1週間続きました。
でもまた参加したいです。

- 地域おこし協力隊の活動**
- ・SDGsカードゲーム研修参加
 - ・大正大学/長井高校フィールドワーク参加
 - ・林業体験(中津川エフエフ)
 - ・全国過疎問題シンポジウム参加
 - ・山形NPO活動促進大会参加

- ・植林活動への貢献(検索エンジンEcosial)
- ・SDGs活動の情報発信(ソーシャルネットワーキングサービス)

- 協力隊のSDGs実践内容**
- ・ごみの削減(コンポスト/マイバツク/マイボトル)
 - ・節水(残り湯洗濯)
 - ・エシカル消費(地産地消)
 - ・化石燃料使用量削減(カーシェア/徒歩通勤)

これからもSDGsの勉強会や一緒に実践できる会を開催していきます。SDGsを一緒に勉強したい方、実践したい方はお気軽にご連絡ください。